

# 市民の目で見た

## 市役所の仕事は

〈事務事業の外部評価結果〉

行政課 ☎66◆1155



〈蒲郡市行政改革委員会〉

蒲郡市の行政改革の進捗状況を把握して、市長に意見を述べる目的で、平成11年にできました。現在、大学教授と7人の市民の方が活動しています。

広報がまごおり2月1日号で、今年度、市が実施した事務事業（仕事）の内部評価結果をお知らせしました。内部評価は、事務事業を行った職員自らが評価をするため、評価が甘くなりがちです。

その部分を補うために、平成16年度から、蒲郡市行政改革委員会が市民の視点で評価（外部評価）しています。評価対象は、市が内部評価した事業の中から、分野が偏らないように委員会が選定し、今年度は13事業の評価をしました。

その評価結果が市長に報告されましたので、内容をお知らせします。

13事業の評価については、内部評価と外部評価の相違について、A評価を3点、B評価を2点、C評価を1点、D評価を0点として、それぞれの平均点で表しました。

その結果、市評価が高い事業が7事業、同じものが3事業、市評価が低いものが3事業ありました。

委員会では、各事業を点数評価するとともに、事業内容を検討し、その評価結果を提言として市長へ提出しました。評価結果の主なものは、下の表のとおりです。

今後、市は、この提言の検討を進めていきます。

事業名	概要	内部評価	外部評価
職員勤務評定事務事業	事業の年間目標、評価基準などが無い。また、被評価者の評定要素の検討、勤務評定をどのように活用していくかなどの課題も含め、人事評価システムの見直しが必要である。	2	1.5
防災訓練事業	ボランティア・コーディネータの数の目標を成果指標としてあげ、登録したボランティア全員が防災訓練に参加できるようにすることも必要である。また、他の部局におけるイベントにおいても活用を図ることが必要である。	2	2.2
出張所管理事務事業	出張所において他課の業務もできるような行政横断的な体制づくりを行い、出張所にも適用すべきである。また、出張所の総合窓口化などについても検討すべきである。	1	1.4
精神障害者小規模保護作業所運営事業	成果指標として、作業所の生産性やボランティアの参加度などが考えられる。この事業は、障害者の社会参加を促進するという大きな意義があるが、今後は、通所の交通手段についての検討が課題としてあげられる。	2.5	2.6
保育園一般運営管理事業	蒲郡市の認可保育園は全て公立であったため、住民の公設への信頼感が高いが、住民のニーズに適切に対応するため、公設民営も検討すべきである。また、単なる保育機能だけでなく、相談機能、虐待防止機能なども重要である。	2	1.6
上空通路建設事業	競艇場入場者の減少、客層の多様化で、事業継続の意味合いが薄れてきており、買収済用地の他への転用を考える必要がある。また、事業を一時中断し、優先度の高い耐震化などを検討する必要がある。	1	1
火災緊急通報時の受付対応事業	設備老朽化に伴う更新、消防庁の基準の変更、同報無線の老朽化の更新など、非常時の情報収集・提供の一元化を図るべき時期にきている。	1.5	1.25
文化振興事業	蒲郡市の生涯学習は、文化協会、生涯学習課、公民館がそれぞれ行っているため、仕分けが不明であり、生涯学習推進体制をどのようにするか検討する必要がある。また、文化協会については、より開かれた組織運営が望まれる。	2	1.8
ボランティア活動推進事業	GCSLは人数が少なく、一部の市民の参加だけとなっている。事業としては、協働まちづくり推進の一環とすべきであり、まちづくりサポートセンターの事業として進めることも検討すべきである。	2	1.6
電話予約受付事業	施設の予約から使用終了までのシステムの簡素化を図るべきである。また、デジタルデバイドの排除、学校開放における管理事務の再検討も必要となる。	2	1.6

詳しくは、蒲郡市ホームページ (<http://www.city.gamagori.aichi.jp/somu/gyosei/gaibu.html>) をご覧ください。また、市役所4階の情報公開コーナー、市立図書館、市内7カ所の図書館分室でもご覧いただけます。